丹沢　**蛭が岳**

山行日　　2019 年 1 月 19 日(土)～20 日(日)

行程　　1 日目　新松戸駅 6：01－藤野駅 8：05－タクシー25 分－青根登山口
青根 8：10－姫次 11：50－蛭が岳 14：30－蛭が岳山荘（泊）
2 日目　蛭が岳山荘 6：30－臼が岳 8：00－檜洞丸 10：50－
西丹沢ビジターセンター14：10　　バス－新松田駅－代々木上原－松戸駅

ここ数年､毎年のように冬に蛭が岳を訪れている。 というのも蛭が岳の頂上から見る富士山と縦走路途中にある姫次から浮かびあがる富士山を見るのが大好きだからです。

若い頃､丹沢＝バテル山､大倉尾根の暑さ､ドロドロ道の歩きにくさ､帰りの小田急線ではずっと立ちっぱなし､いい思い出は全くありませんでした。(その頃、ヒルはいませんでしたが。)　ところが 10 年ほど前の晩秋に友人に誘われ、みやま山荘に泊り、蛭が岳、姫次を通り焼山に下るコースに行った時、霜で光る草木、見晴らしのいい縦走路、ブナ林の紅葉などに魅了され、丹沢の印象が一転しました。

今回は青根登山口から入り、蛭が岳山荘に泊り、ユーシン渓谷に下るコースを設定したのですが、昨年の台風の影響で玄倉林道が岩盤崩壊のため通行止めになり、急遽、檜洞丸から西丹沢に下ることになりました。

一日目は風もなく、真っ青な空は勝手に丹沢ブルーと名付けたくなるほど、澄み切った登山日和でした。

姫次からは樹々の合間に浮かび上がるの富士、蛭が岳頂上からは富士に沈む夕日に見とれ大満足でした。　夜は相模原方面の夜景、大きな月が光っていました。

二日目は雲が多く遠景は望めませんでしたが、しばらく降水がなかったせいで山道は乾燥していて雪も凍ったところもなく順調に黙々と長いコースを歩きました。　おかげで三人とも翌日から筋肉痛になりました。

蛭が岳山荘

食事がレトルトカレーだとか評判は決してよくないし、以前泊まった時は夕飯までストーブなしで寒い思いをしました。 ところが今回はストーブも炊いてあり到着後のビールを暖かい部屋で美味しく飲めました。 居間件食堂になっていて自炊部屋も居間から直結ですし、トイレも清潔で暖かく、その上宿泊代が 7000 円とお安い。(労山カード持参で 500 円引き、ビール代がでました。) 食事はレトルトのおでんですが、暖かいので充分満足です。

食後は小屋の管理人の方が撮影した蛭が岳付近の四季の写真のスライド上映があり、花の時期にも来たくなりました。 管理人は仕事をリタイアされた方が一週間ごとに交替でされているそうです。 富士山の眺めはいいし、夜景は綺麗だし、おすすめの山小屋です。

青が岳山荘

檜洞丸の下にある青い色のメルヘンチックな山小屋です。 TV で見たことはあるものの入ったのは初めて。 かわいい管理人さんが入れてくれた熱いコーヒーが冷えた身体にしみわたり、長い下山道中にひとときの安らぎをあたえてくれました。ここへもシロヤシオ、ミツバツツジの時期に訪れたくなりました。

東京近郊にこんなにも自然が残っている山塊があることへ感謝するとともに、こうして一緒に歩く友人に恵まれた幸せを感じる山行でした。